

(様式第4号)

上田市社会教育委員会 会議概要

|             |                                                                                                                                                                                     |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 審議会名      | 第10期第2回社会教育委員会                                                                                                                                                                      |
| 2 日時        | 令和7年2月28日 午後3時00分から午後5時35分まで                                                                                                                                                        |
| 3 会場        | 市役所本庁舎2階 202・203会議室                                                                                                                                                                 |
| 4 出席者       | 宮下俊哉委員（代表者）、山崎順子委員（代表者代理）、小平千文委員、酒井真由子委員、滝澤正幸委員、小林真由美委員、坂口純一委員、手塚由花委員                                                                                                               |
| 5 市側出席者     | 酒井秀樹教育長、上原生涯学習・文化財課長、久保田人権同和教育政策幹、和根崎城跡整備担当政策幹、田中中央公民館長、木嶋西部公民館長、滝澤城南公民館長、間宮上野が丘公民館長、遠藤塩田公民館長、大森川西公民館長、小林丸子公民館長、池田真田中央公民館長、若林武石公民館長、金田図書館長、中村上田情報ライブラリー館長、坂部博物館長、横田生涯学習係長、荒井生涯学習係主事 |
| 6 公開・非公開    | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開                                                                               |
| 7 傍聴者       | 0人 記者 0人                                                                                                                                                                            |
| 8 会議概要作成年月日 | 令和7年3月18日                                                                                                                                                                           |

|                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 協 議 事 項 等                                                                                                                                                               |
| 1 開 会                                                                                                                                                                   |
| 2 あいさつ（酒井教育長、宮下代表者）                                                                                                                                                     |
| 3 会議事項                                                                                                                                                                  |
| （1） 令和6年度実績報告について                                                                                                                                                       |
| ・ 資料に沿い、令和6年度実績報告について説明。                                                                                                                                                |
| （委 員）ことぶき大学に出席されている一人暮らしの高齢者の方から、ことぶき大学が生きがいになっていて、仲間もできて大変ありがたいという話をお聞きした。学びや仲間づくりということが大事だと感じた。                                                                       |
| （委 員）西部公民館で実施しているペタンク大会について、ペタンクとはどのようなものか。                                                                                                                             |
| （事務局）ヨーロッパ発祥の競技。2チームによる対抗戦で、ビュットという目標めがけて金属製の球を投げる。ルールとしては、カーリングに近く、ビュットに金属製の球がどれだけ近づいたかで点数を加えていく。                                                                      |
| （委 員）西部公民館で運動会を地域ふれあいレクリエーションに変更したとのことだが、どのような内容で実施したのか。                                                                                                                |
| （事務局）種目としては、例えば、じゃんけん列車、未就学児を対象とした旗ひろい等競技や競争の要素が少ない内容のものに変更した。また、運動会は分館対抗で選手集めや準備等分館役員の負担が大きかったため、参加したい人が集まり、その中でグループ分けをして、グループ対抗とした。役員の負担が減り、参加者からも「楽しかった。」との評価をいただいた。 |
| （委 員）史跡上田城跡の懸賞金事業について、23件の情報が寄せられたとのことだが、どのような内容か。                                                                                                                      |
| （事務局）具体的には、写真、絵等。今年度興味深かったのは、県外の方から寄せられた情報で、おそらく江戸の上田藩屋敷の関係資料と思われるもの。令和5年7月から事業を実施しており、開始当初より情報件数は少なくなっているが、コンスタントに情報が寄せられているので、取組を継続していきたいと考えている。                      |
| （委 員）史跡上田城跡の関連で、旧市民会館が大切な施設の一つだということだが、具体的にはどのような内容か。                                                                                                                   |
| （事務局）ここ最近、「登録文化財」という名前で、あと50年、100年したら重要文化財や国宝など                                                                                                                         |

の指定文化財になるだろうものを保存しようという動きがある。旧市民会館は昭和 38 年に建てられたもので、昭和 30 年代から 40 年の初めにかけて現代の公共的な建物の作り方として全国に特徴的なものが残されているなかのひとつとして、「登録文化財」になりうるものとの見解が出てきている。

しかし現実的には、内部は大きく形状を変更しており、また規模が大きいため今後の利用にも課題があるため、史跡上田城跡の保存活用を優先し、旧市民会館は解体することとした。

(委 員) 人権同和教育について、様々な事業を実施しているが、なかでも特徴的な取組、新しい視点から見て良い取組は何か。

(事務局) 今年度から新たに取組んでいる「地域における人権学習事業」の際等に講師を派遣するために、人権同和教育サポート隊を創設した。かつて専門的に人権同和教育に取組んでいた上田市在住の元教職員を組織したもので、人権学習事業 75 件中 21 件に講師派遣をした。学習事業参加者のアンケートでは、教職員の思いや、子ども達がどのように学んでいるのか等を知ることができ良かった等の感想があり、引き続き取り組んでいきたい。

(委 員) 人権同和教育を継続して行ってきた、目に見える結果とは言わないまでも、状況は変化してきているのか。人権差別の一例として部落差別の認識などはどうか。

(事務局) 同和問題の運動体等の交流会では、あからさまな差別は感じなくなったとの声をお聞きした。一方、全国的には土地の購入や結婚の際に問題が顕在化することも耳にしている。多くの人が「人権は大事だ。」という意識を持っているものの、無自覚な差別等は多くあり、そうした差別に対しどのような取組をしていくのかというところが課題だと考えている。

(委 員) 郷土ゆかりの先人・偉人の顕彰事業について、今後の取組で計画されているようなことはあるのか。

(事務局) 先人顕彰事業として、建物の位置づけは今後博物館にどのような機能を持たせるのかという方向性が出てからの検討と考えている。

また、先人・偉人の選定について見直しの必要性は感じているが、現段階で具体的な計画はない。

(委 員) スマートフォンが世界的に問題になっており、使用の規制をする国も出てきているが、市として方向性はあるのか。

(事務局) SNS の規制となると、国単位の規模で考えていくことかと思う。教育委員会という立場からすると、規制ではなく教育や啓発等により、必要となる技術と倫理観をいかに共存させていくのかという視点に立って取組を行っていく必要があるのではないかと考えている。

(委 員) 「インターネット・スマートフォン適正利用啓発リーフレット」1 万 5000 部を作成して配布予定とあるが、どのように活用されているのか。

(事務局) リーフレットを家庭に持ち帰り、保護者と子どもで内容を確認し、使用のルール作りをしていくというような使い方や、学校の授業等で活用していただくなどの使い方をお願いしている。

(委 員) 先人館について、公民館や櫓復元室、市民団体、民間企業と連携して出張どこでも先人館を実施したとあり、面白い取組だと思うが、具体的にはどのような内容か。

(事務局) 公民館で行われる文化祭や公民館まつり、櫓復元推進室主催の上田城に関係した啓発活動実施の際、またアリオの広場をお借りするなど多くの人の目に触れる機会をとらえて実施している。

(委 員) 当初目標の必要性の欄について、「必要があります。」という言葉で結んでいるものが多いが、課題やその課題に対する取組等整理をしていった方が良いと考える。

(委 員) 青少年の取組で自然体験、体験活動の重要性の記載があるが、小学生以上に限らず 0 歳から 100 歳までという視点で考えても良いのではないか。

また、最近森林税を使った里山整備などの事業が各地で行われており、そうした事業を行っている団体との連携等もできたら良いのではないか。

## (2) 視察研修について

- ・令和 7 年度視察研修は、図書館について 7 月から 8 月頃実施予定

4 その他

5 閉 会